



地域のチャレンジを 応援しています！

地域づくり夢チャレンジ推進事業優良事例集



熊本県

目次

■制度の概要	3
■くまもと地域づくりフォーラム	4

優良事例紹介

■事例1 第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町 ／第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町実行委員会〔山都町〕	6
■事例2 秋スイカの高付加価値化プロジェクト ／熊本西瓜未来研究会〔合志市〕	7
■事例3 つなぎ型スローフード推進事業／津奈木町	8
■事例4 上天草特産の花きを活用した誘客コンテンツ創出事業／上天草市	9
■事例5 益城の農産物を使ったジェラートで賑わいづくり事業 ／益城町未来トーク事務局〔益城町〕	10
■事例6 道の駅等を拠点としたアウトドア&インバウンドの交流促進事業／和水町	11
■事例7 みなまた和紅茶ブランド推進事業 ／みなまた和紅茶実行委員会(旧:全国地紅茶サミットinみなまた実行委員会)〔水俣市〕	12
■事例8 「天草朝食」PR キャンペーン ／一般社団法人天草宝島観光協会〔天草市〕	13
■地域づくり夢チャレンジ大賞一覧	14
■お問合せ先一覧	15

制度の概要

地域のチャレンジを応援しています！

熊本県では、地域団体や市町村が行う自主的な地域づくりの取組みに対し、「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」による支援を行っています。

この度、この制度を活用した取組みの中から、他のモデルとなるような優れた取組みや、自走化につながった取組みを取りまとめた事例集を作成しましたので、皆様の地域づくりの参考としていただければ幸いです。

なお、詳細な制度の概要や活用方法などにつきましては、巻末の県地域振興局または市町村へお気軽にお尋ねください。

支援する主な分野

移住の促進	県外から県内地域への移住定住を促進し、地域を維持・発展させていく地域づくりを支援します。
起業の誘発	地域活動に根ざした起業や、地域の高齢者や障がい者等と取り組む起業、農業等の6次産業化などの地域資源活用による起業を支援します。
交流の拡大	豊かな自然、農林水産業、食、歴史、文化等の地域資源を生かして県内外から人を呼び込み、交流人口を拡大する取組みを支援します。
地域連携枠	県内全域の地域づくり団体の相互交流を図り、自主的な取組みの促進を目的とした「火の国未来づくりネットワーク」の地域ブロックネットワークが実施する、地域の特性や優位性を生かした地域づくりの取組みを支援します。

※上記の分野に該当しない、県内各地域ならではの独自性（特性や優位性）を活用した、地域活性化につながる先進的かつモデル的な取組みも支援します。

詳しくは、県地域振興局にお尋ねいただくか、インターネットから県のホームページをご覧ください。

地域づくり夢チャレンジ

検索

くまもと地域づくりフォーラム

今後の地域づくりのモデルとなる事業を掘り起こし、次年度以降の更なる地域づくり支援につなげることを目的とし、令和元年11月、「くまもと地域づくりフォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、平成30年度の実践の中で他のモデルとなるような優れた取組みを「地域づくり夢チャレンジ大賞」として知事が表彰するとともに、これまでに支援した取組みの中で自走化につながった優良事例の発表を行っていただきました。

当日は地域団体や市町村職員など約130人の方が参加され、今後の地域づくりの参考となる情報を提供することができました。

今回御紹介するのは、フォーラムで発表していただいた8つの優れた取組みです。



くまもと地域づくりフォーラム



益城町 未来トーー？

ご賞賛感謝に ありがとうございます！

益城町 未来トーー？

益城町 未来トーー？

Nagomi Camp

03/03 SAT 12:00 start

江田川水辺公園

第16回 全国地紅茶サミット in みなまた

2017 11/4(日) 11:00-16:00

茶っぴ みなまち

ここでしか出会えない、島ならではの「最高の朝食」。

天草 Amakusa breakfast

朝食

優良事例紹介①

第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町

【団体名】第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町実行委員会〔山都町〕

取組みの背景

山都町においては、熊本地震により296件の家屋が被害を受け、また平成28年6月の豪雨災害においては2,901件の農地・農業施設等に甚大な被害を受けました。

中でも、町のシンボルである「通潤橋」は大きな被害を受け、放水ができず観光客の激減とともに観光産業の衰退も深刻な状況です。

また、急速な人口減少や少子高齢化、また過疎化やそれに伴う家族形態の変化により集落機能の維持に影響が見込まれ、高齢化する地域での支え合い等形成する「地域力」の向上は大きな課題となっています。

取組みの内容

震災復興、交流人口の拡大及び地域福祉力の向上等を図ることを目的として平成30年10月27日・28日に「第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町」を開催しました。

1日目の基調講演では、増進型地域福祉が「やる気」と「元気」を育む地域づくりにつながる可能性についてお話をいただきました。また、各分科会では、山都町の地域づくり団体による取組みを紹介し、コーディネーターやサポーターからのアドバイスを交えながら、テーマである「地域の伝統をつなぐ」「災害からの復興」「みんなが主役になる地域づくり」について、参加者とともに有意義な議論を行うことができました。

2日目のパネルディスカッションでは、住民主体による地域の支え合いについて紹介するとともに、中山間地域での地域づくりのあり方について、会場の参加者と深く掘り下げて議論することができました。

取組みの成果

2日間を通して、延べ517名の参加があり、当初の目的でもある交流人口の増加を図ることができ、元気ある山都町と熊本地震からの復興を対外的にアピールすることができました。

また、このサミットにより、全国の地域づくりや地域支え合いの先進的な事例を学んだことで、町内の参加者においても自らが実践している地域づくりの検証とこれからの課題を見出すきっかけとなり、今年度から、福祉活動の充実を図る福祉祭りや、地域行事の継承や地域で支え合う体制の整備及び活動の継続を図る福祉懇談会の開催につながっています。



【補助年度】平成30年度 【交付決定額】1,000千円
【分野(取組み名)】復興枠(震災復興に向けた交流促進の取組み)

優良事例紹介②

秋スイカの高付加価値化プロジェクト

【団体名】熊本西瓜未来研究会〔合志市〕

取組みの背景

合志市ではスイカが特産品とされていますが、スイカの栽培には高度な技術と施設整備が必要なため、後継者や新規参入者が少なく、生産農家人口及び栽培面積ともに大きく減少しています。また、6月から8月に収穫されるスイカは他県の産品と競合するため、都市圏等への販路拡大及び高価格での流通が困難です。

そこで、スイカの全国的な端境期である10月収穫の「秋スイカ」を栽培し、その中で一定の条件を満たすスイカを「ハロウィンスイカ」としてブランド化・高付加価値化を図ることで、農家所得の向上及び農家人口の維持・増加を目指しました。

取組みの内容

市内の生産者に協力を依頼し、スイカの品種の一つ「ひときわ」を活用して秋スイカの試験栽培を実施しました。高温や害虫対策として防虫ネットや気象観測装置を導入し、ハウス内の温度や湿度等の管理を徹底しました。また、当装置は、個々のハウスの気象状況等を生産農家全体にリアルタイムで共有することができ、即応体制や相互協力体制も整えることができました。この試験栽培を通じ、秋スイカの栽培方法マニュアルを策定し、栽培技術を確立しました。

また、一定の条件を満たす秋スイカを「ハロウィンスイカ」として商標登録し、ブランド化を実現するとともに、売上高の増加及び農家所得の向上を図りました。

さらに、パブリシティの積極的な活用や、熊本市内のスーパーでの消費宣伝活動などを行い、県内外での認知度を高め、関東大手百貨店での販売も実現させました。

取組みの成果

これらの取組みの結果、秋スイカの売上高が増加し、新たな所得を創出することができました。

栽培マニュアルの策定及び栽培技術の確立により生産へのハードルが下がったこと、売上高増加や農家所得向上の結果から、今年度は「ハロウィンスイカ」の生産に挑戦する農家が増加しており、今後、スイカ生産者の更なる所得向上と新規参入者の増加が期待できます。

(参考)

●秋スイカの売上高

H29：11,387,647円→H30：13,722,429円

●農家所得

H30：750千円/10aの新たな所得を創出

●生産農家戸数（ハロウィンスイカ）

H30：4戸→R1：10戸



【補助年度】平成30年度 【交付決定額】1,000千円
【分野（取組み名）】起業の誘発（農業の地域資源（宝）活用の取組み（育成段階））

優良事例紹介③

つなぎ型スローフード推進事業

【団体名】津奈木町

取組みの背景

津奈木町では、食による交流促進を図るための基盤づくりとして、町内飲食店や小売店等が連携した「つなぎ食の振興協議会」を設立し、食のフェアを開催するなどしています。しかし、地元ならではの調理方法や組合せなどを含めた郷土料理情報が保存されておらず、町の歴史や文化に育まれた「津奈木の味」や「暮らしの知恵」が将来にわたって伝承できない状況にあります。

そのため、町内の食材をはじめとして、町の暮らしや歴史に根付いた郷土・家庭料理の掘り起こし・保存・情報発信及び来訪者への提供等を可能にする仕組みづくりが課題となっています。

取組みの内容

食をテーマにした交流促進を図るため、郷土料理教室、スローフードフェア、講演会の開催等を通してつなぎ型スローフードの推進に取り組みました。

(具体的な内容)

①郷土料理教室

各回異なるレシピで開催、毎回20～30名が参加。51品目をまとめたレシピ集も作成。

②スローフードフェア

「つなぎ太刀魚・新酒フェア」を開催。飲食店や販売店等9店舗が参加。

③スローフード講演会

様々な地域の食文化や食の取組み等に関する講演会を開催。約60名が参加。

取組みの成果

旬の食材を使ったフェアの開催や、入込客がほぼ50%程度増加している「つなぎオイスターバル」との連動企画等で食をテーマとした来町者が増加しており、平成29年度から平成30年度の2年間で約1,000名の交流人口を創出しました。

また、物産展の開催やツアーの実施等により、つなぎ型スローフードの認知度が向上し、メディアへの取り上げが増加しました。

さらに、つなぎ型スローフード事業の推進母体となる「つなぎスローフード推進委員会」が設立され、補助終了後も郷土食によるおもてなしに継続して取り組むことができる基盤が整備されました。



【補助年度・交付決定額】平成29年度 1,234千円 平成30年度 1,965千円 平成31年度 2,565千円
【分野(取組み名)】交流の拡大(交流促進の取組み)

優良事例紹介④

上天草特産の花きを活用した誘客コンテンツ創出事業

【団体名】上天草市

取組みの背景

上天草市における観光入込客数は、夏季(8月、約19万人)に比べ冬季(2月、約10.5万人)では厳しい状況が続いており、冬季の誘客コンテンツの創出が課題となっています。また、昭和初期から続く県内有数の花きの産地ですが、近年地元でも花き産地としての認知度が低下しています。さらに、花きの生産量は全国でも上位ですが、購入量は全国平均を下回っています。

このような中、高齢化が進む農業者の中でも後継者の多い花きの若手生産者を中心に、花に触れる機会の創出や、将来にわたる花き消費量の増加への取組み、及び「活気ある花のまち上天草」の産地PRとそれらによる観光客誘致促進への機運が高まっています。

取組みの内容

体験型観光の1つとするべく、花きを活用した体験型メニュー(花苗寄せ植え、ユリの球根植え付け、花屋体験、フラワーアレンジ、多肉植物の寄せ植え、押し花しおりづくり等)の開発を行うとともに、実施時に必要となる講師を花き生産者が担えるよう、接遇や進行、指導方法といった必要スキルの習得に向けた研修会を開催し、指導者養成を行いました。開発したメニューや育成した指導者により、小中学校において「フラワー体験教室」を開催しました。

また、上天草産花きの種類が最も豊富で花需要の最盛期直前である2月中旬の1週間に、「上天草花まつり」「上天草フラワーウィーク」を開催し、交流人口の拡大を図りました。

取組みの成果

前年度に引き続き体験型メニューの開発を行い、平成30年度は新たに3種を開発、指導者の新規養成人数も10名増加したことで、参加者から良好な反応を得ています。

また、体験型メニューの充実を図ったことで、来場者数が前年度より1,000人増加し、目標数以上の来場者数を記録しました。

これらの事業により、花き生産者のモチベーションが向上したほか、花き生産者、生花店及び市場等業界関係者との連携の機運が高まることとなりました。



【補助年度・交付決定額】平成29年度 1,248千円 平成30年度 1,020千円 平成31年度 1,037千円
【分野(取組み名)】交流の拡大(交流促進の取組み)

優良事例紹介⑤

益城の農産物を使ったジェラートで賑わいづくり事業

【団体名】益城町未来トーク事務局〔益城町〕

取組みの背景

益城町では、町民主体のまちづくりを進める中、若い世代にいかに参画してもらうかが課題でした。

熊本地震後も、復興計画策定に係る意見交換会を20回以上開催するも20～30代の参加は皆無であり、若い世代の地域づくりへの参画は、喫緊かつ大きな課題でした。

また、地震後、人口減少による賑わいの喪失や地域コミュニティ崩壊という大きな問題を抱える中、地域に支援慣れが蔓延し、住民自らが知恵を出し合い、思考錯誤しながら復興に取り組むといった意識が希薄となっていました。

一方、多くの視察やボランティアが訪れる中、町には特産品が存在せず、経済活性化やPRにつなげる機会を逸しているとの課題もありました。

取組みの内容

熊本地震後、高校生や大学生を中心とした若者が集まり、「益城町未来トーク」を結成しました。「地域の名物になるような特産品を作りたい」という高校生の意見をきっかけに、復興に向けた町の新たなシンボル商品を生み出し、全国にPRすることで交流人口拡大を図るという「ジェラートによる賑わいづくり事業」が始動しました。

ジェラートは地元農協や商工会等と連携して“mashikinto”として商品化にこぎつけ、そのお披露目イベントである“マシフェス”開催を実現させました。イベント当日は、地元商店等15店舗が出店協力し、500人を超える来場者で賑わいました。

また、これらの取組みは多くのマスメディアに取り上げられ、町内はもとより全国に発信されました。

取組みの成果

ジェラートは現在も町内物産館で販売しているほか、平成30年4月には銀座熊本館での期間限定販売、東京有楽町でのマルシェ出店を行うなど販路が拡大しました。

マシフェスは、町内企業から継続開催の提案があり、平成30年4月、7月に開催しました。復興支援の一環として、歌手の倉木麻衣氏がゲスト出演するなど、規模、内容ともに広がりを見せています。

また、益城町未来トークの活動を知った首都圏の企業や団体から提案が寄せられ、被災した町内小中学生を劇団四季に招待するツアーや英会話イベントが実施されるなど、町民を巻き込んだ多様な地域づくり活動が発展しています。

これらの取組みは、NHKの首都圏の番組や全国ネットワークのFM放送にも取り上げられ、引き続き全国に向けて情報発信されています。



【補助年度】平成29年度 【交付決定額】1,540千円
【分野(取組み名)】復興枠(震災復興に向けた交流促進の取組み)

優良事例紹介⑥

道の駅等を拠点としたアウトドア&インバウンドの交流促進事業

【団体名】和水町

取組みの背景

和水町が抱える課題の一つは人口減少の問題です。この課題を解決するには、実際に町に来ていただき、町の魅力を感じていただくことが重要です。そのためには、まず町の知名度の向上を図り、当地へ足を運んでいただけるような取組みが必要です。

そこで、平成27年度に「道の駅等を拠点とした地域活性化計画」を策定し、地域ブランド化のための拠点づくりを始めました。さらに、平成28年度から平成29年度にかけて、地域づくり夢チャレンジ推進補助金を活用して、町の景観等を最大限に生かしたアウトドアの拠点化を推進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化に繋げました。

取組みの内容

町の認知度向上や交流人口の拡大を図るため、道の駅「きくすい」を拠点に、アウトドアショップ「Snow Peak」や「CROSS ORANGE」等とコラボレーションしたキャンプイベントを計7回開催しました（399名参加）。

また、町の観光資源の磨き上げのため、体験型観光プログラムのパンフレット「なごみ×みりょく」を作成し、農業体験、ものづくりなど、和水町ならではの体験ができる体験型観光商品を15本造成しました。さらに、着地型観光商品販売のプラットフォーム「TABICA」と連携する取組みを行いました。

取組みの成果

「道の駅等を拠点とした地域活性化計画」策定からスタートした本事業は、江田船山古墳、肥後民家村、キャンプ場、温泉、カヌー等和水町の地域資源を有効に活用し、交流人口の拡大に大きく寄与しています。また、平成30年度からは指定管理者が様々な取組みを行い、年間を通して安定した来客の獲得及び収入の増加につながっており、今後も継続的な発展が見込まれます。

(参考)

- カヌー・キャンプ利用者 H29：8,546人 → H30：11,565人
- カヌー・キャンプ収入状況 H29：4,124,302円 → H30：8,170,093円



【補助年度・交付決定額】平成28年度 810千円 平成29年度 2,848千円
【分野(取組み名)】交流の拡大(交流促進の取組み)

優良事例紹介⑦

みなまた和紅茶ブランド推進事業

【団体名】みなまた和紅茶実行委員会（旧：全国地紅茶サミット in みなまた実行委員会）〔水俣市〕

取組みの背景

水俣市は水俣病の経験から安心・安全な農産物づくりに取り組んでおり、お茶は主要農産物の一つです。しかし、お茶処としての知名度不足、価格の低迷する二番茶・三番茶の生産者の減少、高齢化や後継者不足などの課題が山積しています。

そのような中、二番茶以降の茶葉で紅茶を生産する動きが全国的に広がっており、熊本県下の紅茶生産量の7～8割を誇る水俣・芦北地域の強みを生かして、みなまた和紅茶のブランド推進活動を開始し、紅茶の生産地としての認知度向上を図りました。

取組みの内容

「全国地紅茶サミット in みなまた」の開催や、サミット開催に向けたメディア出演などの各種PR活動を通じて、紅茶を切り口として、地域の観光資源等を広く全国へアピールするとともに、生産者や関係団体等、地域全体と連携した企画を実施し、地域の活性化を図りました。

サミットには全国からお茶生産者などの事業者32店舗が出店し、各地域の紅茶飲み比べ、茶さじ作り体験、有識者によるセミナーを実施しました。地元の協力もあり、2日間で約6,400人の来場がありました。

取組みの成果

サミット開催及び活動を通して生産者の意識が向上し、生産者同士や事業者と協働した取組みも活発化しました。

具体的には、平成30年度から「九州和紅茶サミット」を地元独自で開催し、「紅茶のまちみなまた」としてのイメージ定着に係る取組みにつながっているほか、みなまたスイーツとコラボした紅茶スイーツの開発や、水俣・芦北地域雇用創造協議会と連携した新商品開発の取組みへと発展しました。

これらの取組みはテレビや新聞において多数特集され注目を集める等、多方面で地域の魅力発信や交流人口の拡大へつながっています。



【補助年度】平成29年度 【交付決定額】3,126千円
【分野（取組み名）】交流の拡大（交流促進の取組み）

優良事例紹介⑧

「天草朝食」PR キャンペーン

【団体名】一般社団法人天草宝島観光協会〔天草市〕

取組みの背景

天草市は、宿泊客数約30万人が訪れる自然と歴史、そして食を堪能することのできる地域です。

しかし、これまで、まとまった形での天草ならではの「食」の発信・提供の取組みはなされていなかった状況でした。また、「熊本地震」の風評被害により、一時観光入込客数が激減しました。

その後、国の「九州ふっこう割」ならびに、市の宿泊補助制度等により宿泊施設を中心に観光入込客数は回復しましたが、助成終了後の反動などの影響により、観光入込客数は地震前より減少傾向にありました。

取組みの内容

宿泊施設と連携し、食材や提供方法などにこだわった天草ならではの「天草朝食」のブランド化を図り、キャンペーン期間を設けて提供しました。（参画施設数：13施設）

「天草朝食」の開発にあたっては、朝食の満足度を向上するための勉強会や、他地域の朝食との差別化を図るためのワークショップにも取り組みました。また、宿泊者に対してだけでなく、「天草朝食」のみの提供も可能な施設を増やす取組みや、SNSなどのツールを使い、提供施設を集約して効果的に情報発信を行いました。

これらに合わせ、体験メニュー「朝活体験（んーっ！！体験）」を造成し、セットにすることで「天草朝食」の一般への浸透を図りました。

取組みの成果

参画施設の13のホテルや旅館が、天草のお母さん特製だご汁バイキング、朝からお好み海鮮丼、豪快「漁師鍋」など、天草朝食を使った宿泊プランを提供し、天草朝食のみの提供も7施設が実施しました。また、6施設が体験メニューを造成しました。

その結果、キャンペーン参加人数（宿泊者）16,916名の成果があり、補助終了後も継続してキャンペーンを実施しています。

平成30年度のキャンペーン利用者数は19,224名で、前年度対比114%となっており、参加者数が増加しています。



【補助年度・交付決定額】平成28年度 1,500千円 平成29年度 1,285千円
【分野（取組み名）】交流の拡大（交流促進の取組み）

地域づくり夢チャレンジ大賞一覧

※他の団体や市町村のモデルとなるような優れた取組みを「地域づくり夢チャレンジ大賞」として選定し、知事による表彰を実施。

実施年度	団体名	事業名
H23	菅地区山村交流ビジネス協議会	里山レストラン事業
H23	菊鹿町干し柿研究会	あんぽ柿「ほっぺ」による起業化の取組み
H23	五家荘地域振興会	五家荘・夢チャレンジ事業
H24	南小国町まちづくり戦略策定部会	南小国町「美しい村」再発見事業
H24	上天草市	九州オルレを活用したインパウンドフォーラム事業
H25	美里フットパス協会	～地域を元気にする魔法～美里フットパス活動促進・PR事業
H25	荒尾市ものがたり観光研究会	荒尾の感動づくり事業
H25	阿蘇草原再生協議会	阿蘇草原ファンづくりを通じた交流拡大事業
H25	津奈木町	住民参画型アートプロジェクト赤崎水曜日郵便局開局記念展覧会一年目の消息 語りかけることができる「君」
H25	天草海道フェスタ実行委員会	第1回世界サントクロース会議 in 天草
H26	豊野deとよの	豊野の食文化を守る交流拠点作り事業
H26	菊陽町商工会	名所、名店、名人、達人発掘による体験型イベント事業
H26	やつしる TOMATO フェスタ実行委員会	やつしる TOMATO フェスタ交流促進の取組み
H26	一般社団法人天草四郎観光協会	湯島ブランド魅力向上事業
H27	御船しあわせ日和実行委員会	御船文化体感！しらかべ日和事業
H27	熊本県ペンション協会南阿蘇支部	プラチナ世代観光客誘致事業
H27	株式会社 Be-BLOOM	廃校活用チャレンジ 泊まれるみんなの学校
H27	一般社団法人天草四郎観光協会	サイクリストの島上天草 磨き上げ事業
H28	宇城市	三角西港PVドローン撮影大会
H28	山鹿市の食と観光もりあげたい	「日本一栗がおいしい里・山鹿」づくり事業
H28	やまえ栗まつり実行委員会	交流促進によるやまえ栗のブランド化
H28	一般社団法人天草市芸術文化協会	第3回あまくさ子ども芸術祭
H29	益城町未来トーク事務局	益城の農産物を使ったジェラートで賑わいづくり事業
H29	社会福祉法人小国町社会福祉協議会	熊本県推奨大豆「すずかれん」を活用した農福連携事業
H29	全国地紅茶サミット in みなまた実行委員会	みなまた和紅茶ブランド推進事業
H29	一般社団法人天草宝島観光協会	「天草朝食」PRキャンペーン
H30	第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町実行委員会	第6回町内・集落福祉全国サミット in 熊本・山都町
H30	熊本西瓜未来研究会	秋スイカの高付加価値化プロジェクト
H30	津奈木町	つなぎ型スローフード推進事業
H30	上天草市	上天草特産の花きを活用した誘客コンテンツ創出事業

お問合せ先一覧

●市町村担当窓口

市町村名	担当課	連絡先	市町村名	担当課	連絡先
熊本市	地域活動推進課	096-328-2036	産山村	企画振興課	0967-25-2211
宇土市	まちづくり推進課	0964-22-1111	高森町	政策推進課	0967-62-1111
宇城市	まちづくり観光課	0964-32-1906	西原村	企画商工課	096-279-3112
美里町	企画情報課	0964-47-1111	南阿蘇村	政策企画課	0967-67-2230
御船町	企画財政課	096-282-1263	八代市	企画政策課	0965-33-4104
嘉島町	企画情報課	096-237-2641	氷川町	宮原振興局地域振興課	0965-62-2317
益城町	企画財政課	096-286-3223	水俣市	企画課	0966-61-1607
甲佐町	企画課	096-234-1115	芦北町	企画財政課	0966-82-2511
山都町	企画政策課	0967-72-1214	津奈木町	政策企画課	0966-78-3114
菊池市	企画振興課	0968-25-7250	人吉市	企画課	0966-22-2111
合志市	企画課	096-248-1813	錦町	企画観光課	0966-38-4419
大津町	総務課	096-293-3111	あさぎり町	企画財政課	0966-45-7211
菊陽町	総合政策課	096-232-2112	多良木町	企画観光課	0966-42-1257
荒尾市	政策企画課	0968-63-1273	湯前町	企画観光課	0966-43-4111
玉名市	地域振興課	0968-75-1421	水上村	総務課	0966-44-0311
玉東町	企画財政課	0968-85-3188	相良村	総務課	0966-35-0211
和水町	まちづくり推進課	0968-86-5721	五木村	ふるさと振興課	0966-37-2212
南関町	まちづくり課	0968-57-8501	山江村	企画調整課	0966-23-3112
長洲町	まちづくり課	0968-78-3239	球磨村	企画振興課	0966-32-1114
山鹿市	地域生活課	0968-43-1114	天草市	まちづくり支援課	0969-32-6661
阿蘇市	まちづくり課	0967-22-3318	上天草市	企画政策課	0964-26-5511
南小国町	まちづくり課	0967-42-1112	苓北町	企画政策課	0969-35-1111
小国町	政策課	0967-46-2118			

●県地域振興局担当窓口

広域本部及び地域振興局		担当課	連絡先	管轄
県央	企画振興部（県庁内）	地域振興課	096-333-2181	熊本市
	宇城地域振興局	総務振興課	0964-32-2113	宇土市 宇城市 美里町
	上益城地域振興局	総務振興課	096-282-3044	御船町 嘉島町 益城町 甲佐町 山都町
県北	菊池地域振興局	振興課	0968-25-4121	菊池市 合志市 大津町 菊陽町
	玉名地域振興局	総務振興課	0968-74-2113	荒尾市 玉名市 玉東町 和水町 南関町 長洲町
	県北広域本部 （菊池地域振興局）	振興課	0968-25-4121	山鹿市
	阿蘇地域振興局	総務振興課	0967-22-3903	阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町 西原村 南阿蘇村
県南	八代地域振興局	振興課	0965-33-3149	八代市 氷川町
	芦北地域振興局	総務振興課	0966-82-4445	水俣市 芦北町 津奈木町
	球磨地域振興局	総務振興課	0966-24-4113	人吉市 錦町 あさぎり町 多良木町 湯前町 水上村 相良村 五木村 山江村 球磨村
天草	天草地域振興局	総務振興課	0969-22-4214	天草市 上天草市 苓北町

お気軽にご相談ください。

発行

熊本県企画振興部地域・文化振興局地域振興課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL：096-333-2181 FAX：096-381-9001

発行：令和2年3月